

神経難病リハビリテーションハンズオン

日時：平成27年5月22日（金曜日）17：20～19：20
開催場所：朱鷺メッセ 1階 展示ホールB-1(第9会場)

〒950-0078 新潟市中央区万代島6番1号

*学術大会への参加登録が必要です。

【開講挨拶と講座の説明】

小森 哲夫（国立病院機構箱根病院 神経筋・難病医療センター）
（神経難病リハビリテーション研究会 世話人代表）

【講演】「神経難病へのリハビリテーションの意味と現状」

小林 庸子（国立精神・神経医療研究センター病院）

【実践指導と何でも相談】

ハンズオンブース1～6

（17:40-18:05,18:15-18:40,18:50-19:15（25分×3クール、休憩10分を2回）

●ブース1（理学療法）

「理論に基づいた排痰」

宮川 哲夫（昭和大学保健医療学部）
三浦 利彦（国立病院機構八雲病院）
内容：排痰の理論を学びながら、手的方法と機器を使った方法を実践してみる

●ブース4（作業療法）

「マイボイスを使う」

本間 武蔵（東京都立神経病院）
内容：コミュニケーション・ツールであるマイボイス紹介

●ブース2（理学療法）

「ホーム・エクササイズ」

上出 直人（北里大学医療衛生学部）
笠原 良雄（東京都立神経病院）
菊地 豊（美原記念病院）
内容：持続可能な家庭でできるエクササイズの紹介と指導

●ブース5（言語聴覚療法）

「嚥下障害スクリーニングと嚥下食」

秦 若菜（北里大学医療衛生学部）
小森 規代（国際医療福祉大学病院）
加藤 健太郎（国際医療福祉大学病院）
内容：●神経難病患者における嚥下障害のスクリーニング方法について
●病態に合わせた嚥下食の選択について

●ブース3（作業療法）

「コミュニケーション機器とスイッチ」

田中 勇次郎
（東京YMCA医療福祉専門学校）
渋谷 亮仁（国立病院機構西新潟中央病院）
内容：コミュニケーション機器とスイッチの適合について

●ブース6「神経難病リハビリテーションのよろず相談」

小林 庸子
（国立精神・神経医療研究センター病院）
中馬 孝容（滋賀県立成人病センター）
花山 耕三（川崎医科大学）
★リハビリテーション科医師の視点でお答えします。

【まとめと閉講挨拶】

小森 哲夫（国立病院機構箱根病院 神経筋・難病医療センター）

【共催】 ●日本リハビリテーション医学会 ●神経難病リハビリテーション研究会
●株式会社クリニコ ●ダブル技研株式会社 ●株式会社東機賢 ●パシフィックメディコ株式会社
●フィリップス・レスピロニクス合同会社

【連絡先】 神経難病リハビリテーション研究会事務局（国立箱根病院内）

〒250-0032 神奈川県小田原市風祭4-1-2 Tel：0465-20-7144（直通）

E-mail：greatqol@hakone2.hosp.go.jp

《研究会HPアドレス》



<http://nanbyoreha.com>